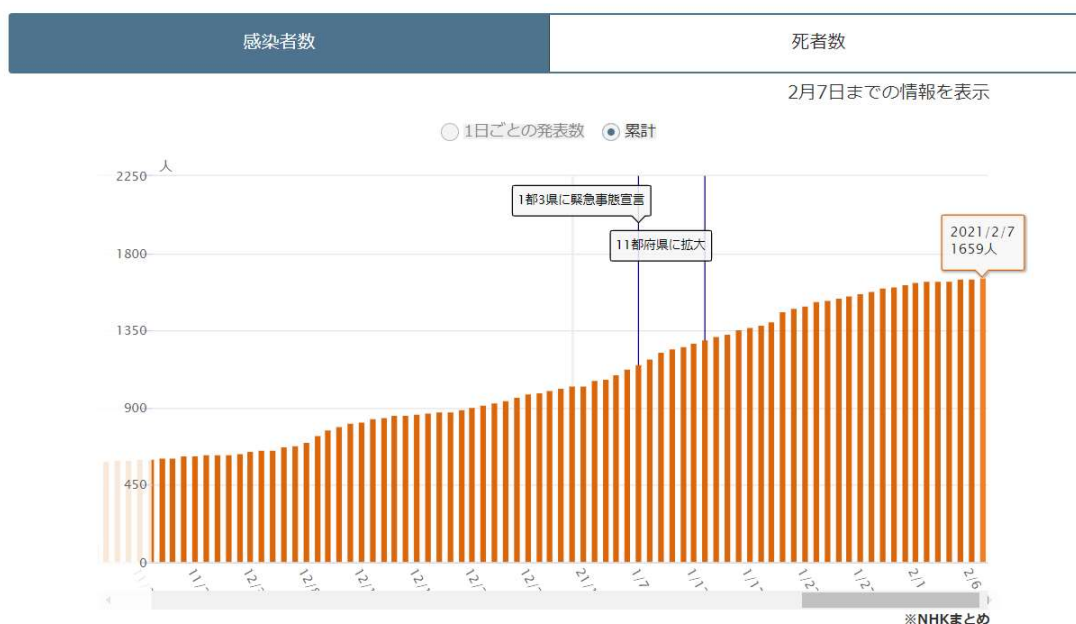


第1章 令和2年度鹿児島 YEG 活動報告

2019年12月に中国武漢において不明な感染症が確認され、2020年2月にはWHOによりその原因となるコロナウイルスがCOVID-19と命名されました（以下、新型コロナウイルスと呼びます）。その後、新型コロナウイルスの感染者は増加の一途をたどり、世界においては、2021年2月7日において1億600万人以上が感染し、死者は230万人を数えます。日本においても2020年1月16日に最初の感染患者が確認されて以降、2021年2月7日において、40万人以上が感染し、6,500人以上が命を落としています。

鹿児島県においても、2021年2月7日時点において、1,600人以上が感染し、19人が命を落としています。

鹿児島県の感染者数



鹿児島県の感染者数推移 (NHK より)

このような中、2020年4月7日、日本政府により、感染者の多かった主要7都府県に緊急事態宣言が出され、またその後4月16日にはこれが全国に拡大されました。その中には、人と人との接触機会を最低7割、極力8割削減することが求められました。この緊急事態宣言の完全な解除には1か月を要しました。

その後も都道府県をまたぐ移動の自粛要請などは続いたため、さらに経済活動に対する影響は多大なものとなり、2020年8月に内閣府により発表された4月－6月期のGDPは年率換算でマイナス29.2%という数値でした。